

七十七銀行上海駐在員事務所 開所20周年記念号

上海駐在員事務所は2025年7月に開所20周年を迎えました。そこで「七十七銀行上海駐在員事務所20周年記念号」と題し、中国に進出するお取引先の動向や上海駐在員事務所の20年のあゆみについてご紹介します。

Topics1

中国に進出する取引先の動向

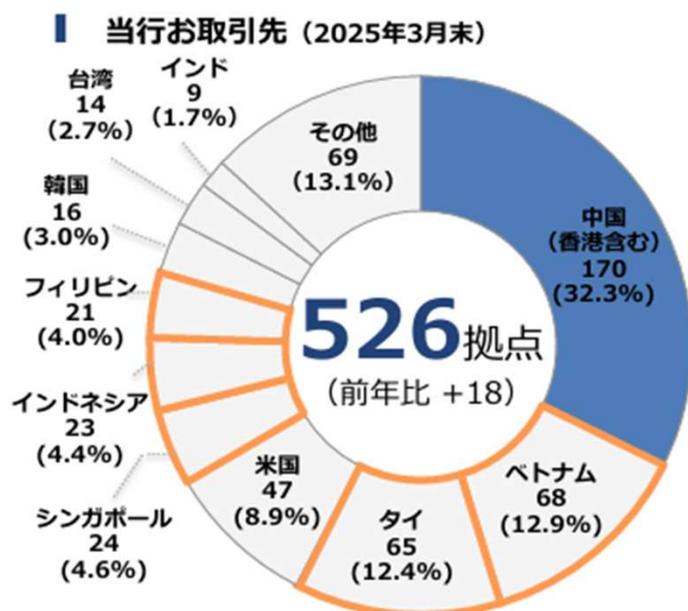
上海駐在員事務所が開所した当時の中国は、2001年のWTO加盟を契機に、各種規制の緩和や市場の開放など経済改革が進展していました。また、2008年の北京オリンピックや2010年の上海万博など、経済成長をアピールするビッグイベントを控えていた時期でもあり、日本から中国への投資が加速していた時代でもありました。

そのような時代背景のもと、当行お取引先の中国進出についても、廉価な労働コストを求めて製造業を中心に進展し、一定規模の定着が図られていきました。その後、開所10周年を迎える2015年頃には世界の市場としての存在感の高まりとともに、当行お取引先の中国拠点数は増加していきました。

一方、近年では、地政学リスクへの対応や米国の関税政策の不透明さなどの影響により、中国拠点の割合は縮小傾向にあります。しかし、それでもなお中国は、お取引先の海外拠点数において国別で最多を誇っております。

上海駐在員事務所では、今後も世界経済で大きな存在感を発揮する中国において、お取引先のニーズを迅速かつ柔軟に捕捉し、お取引先の中国ビジネスを現地で継続して支援して参ります。

【お取引先の海外進出先数の推移】



【海外拠点数の推移】



Topics2

上海駐在員事務所20年のあゆみ（主な出来事・活動）

年	月	主な出来事・活動
2001年	12月	中国がWTO（世界貿易機関）に加盟
2005年	7月	「人民元為替制度改革」発表と同時に対USD相場約2%切り上げ実施 上海駐在員事務所開所（開所日：7月22日、初代所長：目黒康達）
2006年	4月 7月	上海日本人学校浦東校（小中一貫教育校）が開校 地銀8行合同商談会in上海開催（ものづくり関連の商談会初開催）
2007年	9月 10月	羽田-上海虹橋便が就航 上海総合指数が史上最高値を記録（6,124.044ポイント）
2008年	3月 8月	所長交代（2代目所長：井深修一） 北京オリンピック・パラリンピック開催（8月8日～24日）
2009年	10月	中華人民共和国建国60周年 日本食品展示商談会in上海開催（食品関連の商談会初開催）
2010年	1月 5月	上海ビジネス交流会2010開催（初開催） 上海万博開幕（5月1日～10月31日、テーマ「Better City, Better Life」）
2011年	3月 4月	所長交代（3代目所長：櫛田賢治） 上海日本人学校高等部開校（高校は世界初）
2012年	9月 11月	日中国交正常化40周年 習近平氏が中国共産党総書記に就任
2013年	9月 12月	中国（上海）自由貿易試験区が発足 上海・大連広域連携商談会開催（観光関連の商談会を初開催）
2014年	3月 11月	所長交代（4代目所長：高橋理） 2014大連-地方銀行合同ビジネス商談会開催
2015年	7月 12月	上海駐在員事務所開所10周年 AIIB（アジアインフラ投資銀行）設立
2016年	6月 9月	上海ディズニーランド開園（世界で6番目のディズニーパーク） G20杭州サミット開催（初の中国開催）
2017年	5月 7月	第1回「一帯一路」国際協力サミットフォーラム（北京）開催 所長交代（5代目所長：菅原教行）
2018年	3月 6月	憲法改正で国家主席任期撤廃（長期政権可能に） 米中貿易戦争が本格化、第1弾報復関税発動
2019年	6月 10月	香港「逃亡犯条例」改正に反対する抗議デモ拡大 建国70周年記念式典（天安門で大規模軍事パレード）
2020年	1月 8月	武漢市で新型コロナによる都市封鎖開始 全国的な「光盘行動（食品浪費抑制運動）」の取組み本格化
2021年	1月 7月	所長交代（6代目所長：澤田洋介） 中国共産党創立100周年、天安門広場で式典開催
2022年	1月 12月	RCEP（地域的な包括的経済連携協定）発効 ゼロコロナ政策を急転換、各地で大規模感染（翌年1月ゼロコロナ終了）
2023年	7月 8月	改正反スパイ法が施行 ALPS処理水の海洋放出を受け、日本産水産物の輸入を停止
2024年	9月 12月	所長交代（7代目所長：熊谷航） 中国の乗用車販売台数で国産車メーカーBYDが初めて首位となる
2025年	7月 9月	上海駐在員事務所開所20周年 開所20周年記念レセプション開催（於：上海花園飯店）



上海駐在員事務所開所



夏季北京オリンピック



上海万博



上海駐在員事務所10周年



上海ディズニーランド



新型コロナ流行



BYDのEV

Topics3

上海駐在員事務所のご紹介

ごあいさつ

上海駐在員事務所は2025年7月に開所20周年を迎えました。

この節目を迎えるにあたり、長年にわたりご愛顧いただきました皆さまに、深く御礼を申し上げます。

2005年に開所しました当事務所は、お取引先の中国進出や部材調達、販路拡大など多様なニーズに対し、情報提供や商談機会の提供などを通じて各種サポートを行ってまいりました。近年は、中国市場の開拓を目的とした販売会社の設立・運営サポートや、水産加工品や衣料品の輸出にかかる商流構築支援等を実施しております。

開所当時の中国は、2001年のWTO加盟を契機に「世界の工場」として急成長しており、開所10周年を迎えた2015年頃には、経済成長とともに「世界の市場」としての存在感も高めていきました。最近では経済減速や地政学的リスクについて懸念されることもありますが、コロナ禍を経て大きく変化し、「イノベーションの最前線」へと進化しているとも言われております。

こうした変化を踏まえ、当事務所は2025年4月に開業しましたシンガポールのコンサルティング現地法人「77NEXT CONSULTING PTE LTD」と連携し、中国を中心とした東アジア地域における事業展開の支援に力を入れてまいります。

東アジアにおけるビジネスをご検討の際はぜひお気軽に当事務所までご相談ください。

上海駐在員事務所 所長 熊谷 航

上海駐在員事務所 概要

案内図

名称 七十七銀行 上海駐在員事務所

住所 上海市浦東新区陸家嘴環路1000号
恒生銀行大廈28階121室

業務内容 取引先の中国進出支援および中国における貿易・投資・金融等に関する情報の提供、政策・法規・経済状況等の調査および情報の収集



■ 虹橋空港から約25km

■ 浦東空港から約40km